

## 学級経営の極意

12 月 6 日（木）に行われた第 4 回高等部支部ブロック学習会は、学級経営に焦点を当て、個へのアプローチだけでなく、集団の力を生かすためのノウハウを学びました。

### 1 講話

今回は、小学校通常学級担任、特別支援学校高等部教務主任を経験され、現在、中学部教務主任の桐山健一先生のお話を伺いました。

- ☆ 集団がもつ力は個がもつ力を作用する。
- ☆ 学級の雰囲気そして、学習の勢いが大事。
- ☆ 学級経営をうまく進めるには、日頃の授業こそが大事。

→ **生徒になにを学ばせたいか（ねらいを明確に！！）**



**ここは、ぶれてはいけない。  
小学校であっても特別支援学校であっても、それは  
同じである。教室での立ち位置も大事！**

生徒の反応をキャッチするために 360 度の視野

- ☆ 授業規律を大切に。



### 2 質疑応答

桐山先生の熱い講話の後には、参加された先生方より、たくさんの質問がありました。また、事前にいただいたアンケートにあった質問にも答えていただきました。その一部をご紹介します。

Q これまでのご経験で、これは失敗した、困ったといったことはありましたか。あれば、具体的に教えてください。

A ありました。それまでは、一律に誰でも同じように接することが大切だと思ってきたが、同じような内容や口調で言葉掛けをしても、子どもによってはそれを受け入れられない子がいました。同じことを伝えるにしても、伝え方の工夫をするようになりました。

Q 自己理解と他者理解を同時に行う学級経営について。（以前いただいていた質問より）

A 自己理解が優先である。自分のことを大事に思えるようになったら、他人のことに目を向けることができるようになる。



### 3 グループ協議&共有タイム

発達段階の違う生徒8人が在籍する学級において、互いを尊重し合えるようになるための小さな工夫というテーマでグループ協議を行いました。まずは自分一人で考え、その後、グループ内で共有し、最後に全体でそのグループ内で出た意見を発表しました。時間が過ぎるのも忘れ、熱く語り合うことができました。



#### ☆アンケートより（一部）☆

- 桐山先生のご講演、グループワーク、とっても勉強になりました。グループワーク、もう少し時間がほしかったです。
- 熱い話は、聞くだけで感化されます。明日への活力につながりました。一つ一つのキーポイントもしっかり踏まえながら、教員間で連携を図っていこうと思います。
- とっても熱いご講義、ありがとうございました。教師のエネルギー、プロ意識、学びの意欲、見抜く力、視野など、たくさんのキーワードをいただき感謝します。

#### 次回のお知らせ【平成31年1月11日（金）18：30～ 南養護学校大会議室】 「外部機関との連携」

生徒の問題行動等に対処していくためには、児童相談所や基幹相談支援センターをはじめとする外部機関との連携は欠かせません。それに加え、校内体制をどのように整備し、職員間の共通理解を図っていくかといったことなども課題となります。

次回の学習会では、南養護学校 高等部教務主任 岡部直樹先生より、具体的な事例を挙げながら、外部機関とつなげるためのポイントや実際の連携方法、今後の課題などをお話していただきます。担任だけではなく、チームとして動いていくための、具体的な方法について学びます。みなさまの参加をお待ちしています。

文責：南養護学校 鈴木優子